



Sep. 2026 Vol. 290

東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル9階 <https://www.jfa-tanzo.jp>
TEL 03(5643)5321 FAX 03(3664)6470 e-mail: forging@jfa-tanzo.jp

一般社団法人日本鍛造協会
編集発行 広報委員会

約束手形の利用廃止を踏まえた サプライチェーン全体での 支払の適正化について

経済産業省 中小企業庁
公正取引委員会

令和8年1月1日より施行された取適法に加え、令和9年4月1日からは、独占禁止法上の「製造委託等に係る代金の支払に関する特定の不正な取引方法」（以下「支払告示」）が施行されます。

支払告示は、取適法の対象とならない取引であっても、製造委託等を行った事業者が当該製造委託等を受けた事業者に対して、製造委託等代金を給付の受領から起算して60日の期間経過後なお支払わないことを禁止するものであり、サプライチェーン全体での支払の適正化をより一層推進するものです。

加えて、令和9年3月31日には、電子交換所における手形・小切手の利用交換が廃止されることを踏まえ、多くの金融機関が令和8年9月30日を手形・小切手の最終振出期限に設定されています。

これらに鑑み、支払適正化を図るため、会員の皆様に以下につきまして周知・要請いたします。

記

1. 取適法では、令和8年1月1日以後の発注に係る製造委託等代金の支払に手形を交付することが禁止されていること。また、電子記録債権や一括決済方式等の現金以外の支払手段についても、物品等の受領から起算して60日以内に定められる代金の支払期日までに当該代金の満額に相当する金銭を受領することができない場合は、その使用が禁止されていること（例えば、物品等の受領日から起算して60日を超える満期を設定した電子記録債権又は一括決済方式を使用する支払は、原則として禁止される）。
2. 令和9年4月1日から独占禁止法上の支払告示が施行され、取適法の対象とならない取引を含む製造委託等に係る代金について、給付を受領した日（又は役務の提供を受けた日）から60日以内に支払わなければならないこと。各事業者においては、委託事業者・受託事業者間で協議し、支払告示の内容を十分に理解した上で、適正な支払期日を設定すること。
3. 取適法及び支払告示の対象外の取引についても、サイトを製造委託等に係る物品等の受領日から起算して60日以内に短縮する、代金の支払をできる限り現金によるものとする等、サプライチェーン全体での支払の適正化に努めること。とりわけ、建設工事、

大型機器の製造など発注から納品までの期間が長期にわたる取引においては、委託事業者は支払の適正化とともに、前払比率、期中払比率をできる限り高めるなど支払条件の改善に努めること。

4. 電子交換所における手形・小切手の交換が令和9年3月31日に廃止されることを踏まえ、多くの金融機関において、手形・小切手の最終振出期限を令和8年9月30日として設定していることを踏まえ、各事業者においては、委託事業者・受託事業者間で協議し、電子的決済サービスへの移行等の対応を進めること。

2026年9月 価格交渉月間 実施について

経済産業省

毎年9月と3月を「価格交渉促進月間」と位置づけ、各月間終了後に、受注側中小企業の皆様を対象に、価格交渉・転嫁等の状況についてアンケート調査を実施し、その結果が公表されています。

今回の月間から、官公需の取引についてより正確に実態を把握するため、官公需に特化した調査も新たに実施されます。

また、取組状況が芳しくない発注側企業のトップに対しては、受託中小企業振興法に基づき、事業所管大臣名での指導・助言、勧奨を行い、自発的な取引状況の改善を促されています。

さらに、アンケート調査で得られた情報を活用し、迅速な状況改善を促す注意喚起も実施されています。

つきましては、代表者の方から受注側企業と直接関わる担当の方々まで、下記要請の趣旨を周知・徹底いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 価格交渉及び価格転嫁への積極的な対応
2. 「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の周知、積極的な活用
3. フォローアップ調査に対する御協力（受注側中小企業の皆様）
4. 中小受託取引適正化法・受託中小企業振興法の改正内容に関する周知・徹底
5. パートナシップ構築宣言への参加

■詳細

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/follow-up/index.html>

人材育成事業報告

◆令和8年度鍛造マネージャー育成塾成コース 「科目6 鍛造設備」実施

去る8月26日(水)－27日(木)にすみだ産業会館（東京都墨田区）において実施しました。

鍛造に使用されているハンマ、フォーマ、プレス機械をはじめ、素材切断機や加熱装置、搬送装置などの周辺設備について、全般的な基礎知識を学びました。

実機画像や設備作動中の動画やアニメーションを多く使用するなど、工夫を凝らした講義を行いました。また、各設備においてのトラブルの事例紹介や設備の予兆保全についても紹介され、鍛造に関する設備運用に対する考え方を学びました。



◆令和8年度金属熱処理通信講座 「集合講座」実施

去る8月3日(月)－4日(火)に、高度ポリテクセンター（千葉市美浜区）において受講生11名が参加し、「令和8年度金属熱処理講座（集合講座）」を実施しました。

本講座では「鉄鋼材料の熱処理技術」について、講義および実習を行いました。実習では電気炉を使用し、熱処理（加熱及び冷却等）を体験し、顕微鏡で鋼の組織観察や、硬さ試験を実施しました。通信講座のテキストだけでは理解が難しい内容について、講師による分かりやすい解説を通して理解を深めるとともに、実際に実習に取り組むことで、熱処理技術に関する知識をより実践的に学ぶ有意義な機会となりました。



◆令和8年度鍛工品製造業実践型人材養成コース 「教科5 型鍛造」実施

去る8月6日(木)－7日(金)、名古屋国際センター（愛知県名古屋市）において実施しました。

型鍛造の種類（ばり出し鍛造、密閉鍛造、閉塞鍛造）について、3D動画などを用いた説明により、構造や動作を具体的にイメージしながら、それぞれの特徴について、講師より動画を交えながら具体的に解説いただきました。

さらに、熱間鍛造において金型に生じる熱疲労や機械的疲労、型だれの状態と予防対策について、講師のこれまでの経験を交えながら、自主点検や設備メンテナンスを行う上でのコツを知ることができ、実践的な知識を身につけました。

7日(金)午後には、万能工業株式会社明祥工場（愛知県安城市）を訪問し、プレスによる型鍛造品の生産工程を見学しました。メンテナンスされた設備が整然と配置され、看板や掲示物も見やすく設置されるなど、工場内が隅々まで整理整頓されている様子が印象的で、重量物を扱う工程では、作業者の負担を軽減するためのロボット化や、AIを活用した外観検査など、先進的な技術が取り入れられていました。一方で、すべてを自動化するのではなく、製造工程を実際に体験できる新人向けエリアを設けるなど、人材育成にも工夫がなされていました。



自由鍛造及びリング鍛造交流会開催

当協会では、自由鍛造及びリング鍛造の同業種間の交流を図るべく交流会を実施しております。今年度は、去る9月3日(木)－4日(金)に開催し、10社14名の方が参加されました。

今回は、株式会社エンドー島根工場殿（島根県松江市）と、奥出雲たたらと刀剣館（島根県仁多郡）を訪問しました。

株式会社エンドー島根工場では、長年にわたりTR鍛造法によるディーゼル機関用クランク軸の製造を行っており、長尺物や大型の鍛造品の製造、熱処理設備、各種検査・試験作業を見学しました。

翌日の奥出雲たたらと刀剣館では、日本刀の原料となる玉鋼を生産するための「たたら製鉄」の仕組み模型や天秤ふいごとよばれる足踏み式の送風装置を体感しました。また、刀匠による日本刀鍛錬実演を見学し、現代の鍛造技術の原点とも言われる日本刀製作の工程の一部を見学し、知見を深めました。



MANYO

ビレットシャー 30TON~1300TON

フォーミングロール FR120～FR960

プレス 50TON~3000TON

アプセッター 200TON~2300TON



Tel 06-6458-0481

[illegible]

受注見通し調査結果 (令和8年7月－9月期)

■調査対象企業数 143社

■回答社数 41社（回答率28.6%）

○自動車向け○

★横ばい：6社

【増加】（対前年同期比、以下同様） 15（社）

	5% 未満	5-9%	10- 14%	15- 19%	20- 24%	25- 29%	30% 以上
型 鍛 造	7	2	3	1	1	—	—
自由鍛造	—	—	1	—	—	—	—
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併 業	—	—	—	—	—	—	—
合 計	7	2	4	1	1	—	—

要因：・北米向け自動車販売の堅調と、新規品が立ち上がり需要量増加

- ・主要カーメーカー案件の需要増加
- ・一部車両の前倒し生産
- ・商用車向けは好調だが、直近では中東輸出が不透明
- ・新規受注の増加

【減少】（対前年同期比、以下同様） 10（社）

	5% 未満	5-9%	10- 14%	15- 19%	20- 24%	25- 29%	30% 以上
型 鍛 造	2	3	1	—	1	—	—
自 由 鍛 造	—	1	—	—	—	—	—
リング鍛造	1	—	—	—	—	—	—
併 業	1	—	—	—	—	—	—
合 計	4	4	—	—	1	—	—

要因：・中国向けの販売不振に伴う在庫調整減少

- ・ 中東情勢問題により需要減
- ・ 中東情勢でガソリン車種の生産減少により受注低迷
- ・ 一部製品の廃盤による
- ・ トラック関係の在庫調整のため

○産業機械・土木建設機械向け○

★横ばい：9社

【増加】 17 (社)

	5% 未満	5-9%	10- 14%	15- 19%	20- 24%	25- 29%	30% 以上
型 鍛 造	7	1	1	3	2	—	1
自 由 鍛 造	—	—	—	—	1	—	—
リング鍛造	—	1	—	—	—	—	—
併 業	—	—	—	—	—	—	—
合 計	7	2	1	3	3	—	1

要因：・北米向けの機種を増産

- ・ 継手関係の受注増加
- ・ 建設機械向（中型ショベル）増加
- ・ 建機の中東・アフリカ向け増加
- ・ 海外向け産業機械が増加
- ・ 建機部品の在庫調整が終わり、AIデータセンター建設などにより好調
- ・ 取引先の需要増加

【減少】

8 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	—	1	—	—	2	—	2
自由鍛造	—	—	1	—	—	—	1
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併業	—	1	—	—	—	—	—
合計	—	2	1	—	2	—	3

要因：・汎用機種の減少

・中国向け減少

・建設機械の減少

○輸送機械向け需要量○

★横ばい：14社

【増加】

6 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	3	1	—	—	1	1	—
自由鍛造	—	—	—	—	—	—	—
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併業	—	—	—	—	—	—	—
合計	3	1	—	—	1	1	—

要因：・ASEAN市場が好調であり、二輪車は微増している

・インド向け鉄道軌道部品増加

【減少】

5 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	—	2	—	—	1	—	—
自由鍛造	—	2	—	—	—	—	—
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併業	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	4	—	—	1	—	—

要因：・中東情勢問題により需要減

・防衛省向けの減少

・前期と比べ応援品の受注がないため減少となった

・長期休暇による稼働日減のため

○その他向け○

★横ばい：13社

【増加】

16 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	1	2	2	3	—	—	5
自由鍛造	—	—	—	1	—	—	—
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併業	1	1	—	—	—	—	—
合計	2	3	2	4	—	—	5

要因：・半導体、ステンレス製品の受注増加

・半導体関連部品の受注増加

・半導体製造装置用の部品が急増、素材が間に合わない

・汎用エンジン部品の増加

・新規案件の立ち上がり

・建設関連回復

【減少】

6 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型鍛造	—	—	—	—	1	3	—
自由鍛造	—	—	—	—	—	—	2
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併業	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	1	3	2

要因：・電力・原子力機器向け部材：前年同期に大型案件が存在した反動

委員会開催報告

■第64回 研修教育委員会

開催日：9月1日(火)15:00～

会 場：Web開催

議 題：1. 優良従業員表彰・人材育成事業貢献表彰推薦について

2. 委員会体制について

3. 今後の委員会活動について

5団体共催セミナーのご案内

セミナー詳細やお申し込みにつきましては、当協会ホームページをご覧ください。

PLCによる機械装置の実践的プログラミング技術

【主な内容】

機械制御プログラムについて／設備連携制御

■日 程：2027年1月14日(木)～15日(金)

■受講料：14,000円 定員12名

■会 場：高度ポリテクセンター（千葉市美浜区）

鉄鋼材料の熱処理技術

【主な内容】

鉄鋼材料の種類と特徴／熱処理の種類と特徴

■日 程：2027年1月27日(水)～29日(金)

■受講料：8,000円 定員30名

■会 場：オンライン開催

「明日から設備の見方が変わる」知識と点検ポイント

【主な内容】

ねじの折損を防ぐ工具の活用／動力伝達機器の理解／軸受の理解／圧力機器の理解

■日 程：2027年2月9日(火)～10日(水)

■受講料：8,000円 定員30名

■会 場：オンライン開催

Information

人事異動

正会員（団体）九州鍛造工業会

株式会社小野原鉄工所

代表取締役社長 百田 哲也 氏

前代表取締役社長の安永充孝氏は相談役に就任